

平川動物公園が取り組む野生生物保全

鹿児島市平川動物公園 福守 朗

鹿児島県には多くの固有種が生息しており、当園ではそれらの飼育展示を1970年代から行ってきた。アマミノクロウサギ、ルリカケス、ナベヅルでは国内初の飼育下繁殖に成功している。生息域内保全にも貢献しており、恩賜上野動物園、奄美野鳥の会等と連携して奄美大島でルリカケス用巣箱の設置および更新を行ってきた。新たな取り組みとしては、2018年から旭川市旭山動物園等5園および認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパンと連携してボルネオ島サバ州の生物多様性保全活動を支援していくこととなった。当園ではボルネオ島に生息するマレーグマやオランウータン等を飼育していることもあり、プロジェクトメンバーの一員として、ボルネオ島の動物やそれらを取りまく自然環境に関する普及啓発活動に力を入れている。その一環として2019年にはワークショップ「ボルネオって知ってる？野生生物の宝庫の自然を感じてみよう」を開催した。また、保全活動に必要な資金調達を目的として、売り上げの5%がプロジェクトの実現のために寄付される「ボルネオへの恩返し自販機」を園内に設置した。イオンリテール株式会社とプロジェクトメンバーが連携して発行した寄付型の電子マネー「ボルネオ保全WAONカード」を園内外で販売している。さらには、実際にボルネオ島の現状を知るために、プロジェクトメンバーと共に当園の職員がボルネオ視察ツアーに参加し、その経験を園内での普及啓発活動に反映させている。今後も当園の飼育動物に関連付けた活動を模索していきたい。